

待 兼 山

大阪大学経済学部同窓会

2023年（令和5年）6月8日 第39号

ホームページ <http://www.machikaneyama.jp>



同窓会 代表幹事会兼新年会



2022年度大阪大学経済学部 卒業祝賀会

会社概要

創業・設立	1918年（大正7年）3月 1944年（昭和19年）11月	事業内容	通貨処理機・セルフサービス機器の開発・製造・販売・保守、電子決済サービス、生体認証ソリューション、ロボットSI等の提供
資本金	128億9,200万円		代表取締役社長 三和 元純
本社所在地	兵庫県姫路市		
連結グループ会社 <small>(2022年3月末)</small>	86社（海外75社 国内11社）		
製造拠点 <small>(2022年2月)</small>	兵庫1,587名、埼玉300名 フィリピン1,504名、中国309名		
連結従業員 <small>(2022年3月末)</small>	10,677名（海外5,258名 国内5,419名）	大阪大学 経済学・経営学のトピラ	
連結業績 <small>(2022年3月末)</small>	売上高 2,265億円 営業利益 102億円	ECOCA運営メンバー集合写真	



「第25回大阪大学経済学部同窓会総会・懇親パーティ」のお知らせ

日 時	2023年7月1日（土）受付 14：00～	記念講演会	15：15～16：15 「総合プロフェッショナルサービスファームへの道 —社会に必要とされる専門家集団— PwCコンサルティング合同会社社長 鹿島 章氏（新34期）」
場 所	リーガロイヤルホテル 大阪市北区中之島5-3-68 TEL 06-6448-1121 光琳の間（タワーウイング3階）	懇親パーティ	16：30～18：30
総 会	14：30～15：00	会 費	事前振り込み5,000円、当日6,000円 ※同窓生の皆さまの、奮ってのご参加をお待ちしています
		参加申込	6月末日までに会費をお振り込みください

ゴルフ会案内

大阪大学経済学部同窓会懇親ゴルフ会のご案内です



日 時：2023年7月2日（日）
場 所：関西クラシックゴルフ倶楽部 〒673-1123 兵庫県三木市吉川町湯谷567
参加費：2万円程度（昼食代、懇親会費込み）
 参加ご希望の方は、メール、お電話、FAXにて事務局までご連絡ください。
 皆さまの参加お申込みをお待ちしております。

大阪大学経済学部同窓会
事務局

〒560-0043 豊中市待兼山町1番7号（大阪大学豊中キャンパス内）
TEL (06) 6850-5275（火木金の午後1時～5時）
Eメール machikane@econ.osaka-u.ac.jp

総会・ゴルフ会・その他各種お問い合わせは事務局まで

“今、行動の時”

経済学部同窓会 会長 **井上ゆかり** (新33期)
日本ケロッグ合同会社 代表職務執行者社長

5月5日に世界保健機関（WHO）が3年3ヶ月ぶりに新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の終了を発表。8日には日本でも感染症法上の位置付けが5類に引き下げられました。社会が新たな行動様式を築いていくフェーズに移り、皆様各々の持ち場で懸命に対応なさっていると存じます。

同窓会では、この3年数ヶ月、多くの皆様のご協力を得ながら、行動規制がある中、今後の同窓会のあり方を模索して参りました。危機感が増し、昨年の本誌で“同窓会の存亡は私たちの手に”と示し、3つのプロジェクトを立ち上げたことをお伝えしました。今回はその進捗をお伝えします。1つ目の、“大阪大学 経済学・経営学のトビラ”は、既存のプログラムを再編成し年間スケジュールを設定、リアル・ハイブリッド開催を織り交ぜることで、新たな型を定番化できたと考えています。今後は、認知率を上げることで、参加人数を増やします。2つ目の、“新価値創造調査”は行動経済学大竹ゼミ生2代に渡る研究の末、具体的な提言をいただきました。20代・30代の卒業生の同窓会に対するニーズが、それまでの年代とは違っていました。提言を元に、新たな活動を企画していく段階に移ります。3つ目の、“2000年以降の卒業生へのリーチ（DX）”は新価値創造提言の重要な要素でもありましたので、新たな仕組みを作ります。更に、重要課題として挙げていた、ECOCA（学生会）との連携に関しては、昨年来の行動制限緩和を機に、リアルでの対話を増やしたことで、新しい方向性が明らかになりました。今後は、具体的なプログラム化に移ります。本誌に各プロジェクトの詳細を紹介しておりますのでご参照ください。

今、正に、行動の時なのです。昨年本誌で、今年の7月の総会で、迅速に意思決定をする為の規約改定をお願いするとお伝えしました。

一つ目は、2025年以降、同窓会からの便益を提供する際に、会費納入会員と、未納入会員との間に差を設けること。そして、意思決定機関を現在の総会（2年に1度）から代表幹事会（年4回）へ移行すること、の2点です。

久しぶりのリアル開催でありますので、直にご意見を伺いたく、一人でも多くの皆様にご参加いただければと存じます。

今後ともより良い同窓会の発展の為に尽力をお願いすると共に、皆様の新たなフェーズへの移行が順調で喜びに溢れていることをお祈り致します。

経済学部同窓会活性化プロ

「新価値創造調査」は、2021年7月の総会で井上会長から提案し賛同を得た同窓会活性化プロジェクトの一つとして採択された。本調査は大竹文雄教授のゼミ生有志による調査チームが2021年6月から2022年11月にかけて実施した。最終報告は山根貴司さん（リーダー）、川崎利咲さん、野田隼平さん、藤田健史さん、藤本智也さんの5名のチームでまとめたものである。

ここでは事務局で要約した形で会員の皆様に報告するとともに今後の取組みを紹介する。

◆6つの具体的な提案

本調査は、同窓会活動への参加者を増やすとともに活動の基盤となる財政の強化を図ることを目的とした。そのための課題として①イベント参加者（特に若年層）を増やす、②会費納入方法、情報伝達種案を時代に合ったものに革新する（DX化）の二つを設定した。調査は①在校生、卒業生へのアンケート、②他学部、他大学へのヒヤリングをもとに分析した。

結論から紹介すると調査の結果、表1の6項目が提案された。

表1 「新価値創造調査」チーム提案

- | |
|---------------------------|
| 1. 同世代交流イベントの実現 |
| 2. 若年齢世代向けのイベント参加費を低めに設定 |
| 3. 卒業後すぐの人への会費割引 |
| 4. 会費納入方法にQRコード決済を追加 |
| 5. 会費の用途の明確化 |
| 6. 公式LINE・Twitterのアカウント開設 |

◆卒業生、在学生へのアンケートからの知見

アンケート調査は卒業生約4,600人にはGoogleフォームのリンクをメール配信、在学生には大学のオンラインシステム（KOAN）の掲示板、学年のグループLINEで配布した。有効回答は、卒業生229（2000年卒以降の若年層85人、それ以前卒の年配層144人）、在学生98人であった。

イベントについては、年齢層に関係なく同世代の交流に関心が高く、若年層では卒業生同士のビジネス交流にも関心がある。若年層の半分以上は参加費も高いと感じている。

会費については、若年層では支払方法の多様化、会費の用途明確化の要望が高かった。支払方法の多様化

プロジェクト「新価値創造調査」の概要と今後の取組み

ではクレジット決済、QRコード決済の要望が多い。在校生のアンケートでは年会費5,000円が高いとの回答が多く、新卒業生の会費設定の参考となる。

連絡手段については、在校生アンケートではLINE、Instagram、Twitterの順に回答が多かった。Instagramは画像が必要で操作が煩雑なことから若年層への連絡手段として公式LINEとTwitterの活用が有効とのことである。

他大学や他学部の同窓会のヒヤリングにおいては、各同窓会もわれわれと同様の課題を抱えており、それぞれに表2のようないろいろな工夫をされていることがわかった。

表2 他大学・学部同窓会の事例	
1. イベント	若手交流会（東京大学）、若い経営者・若手教員講演会（京大経済学部・東大経済学部）ビアパーティー（阪大外国語学部・東京支部）
2. 会費	卒業後1年目半額（2,500円）（東大経済学部）、卒業後数年割引（京大経済学部）決算を会報で報告（京大経済学部、阪大外国語学部）、QRコード決済（慶大理工学部）
3. 連絡手段	SNS（阪大外国語学部）、HPとTwitter（九大経済学部）、公式LINE（龍谷大経済学部）

●提案を受けた今後の取組み

「新価値創造調査」において若年層のニーズが同学年、同世代の交流にあることがわかったのは新しい発見でした。また、イベント企画、会費、連絡手段についても具体的な提案があったことは大きな成果でした。

昨年11月2日の代表幹事会では、この調査報告を受けて今後検討し、実行していく事項（表3）を確認しています。提案項目に加え、これらを実行していくうえで必要な「学年コミュニティの形成」、「同窓会ホームページと会員名簿システムのリニューアル」の二つを加えました。

表3 代表幹事会（2022.11.2）での合意調査報告を受け今後検討、実行していく事項	
1. イベント	①同世代交流機会の提供 テストイベント（卒業年の同窓会開催） ②講師に若い人、さまざまな分野から設定 ③イベント参加費の価格設定 若い人の参加を増やすための低めの価格設定 ビアパーティーのような気軽に参加できるもの
2. 会費	①支払い方法の多様化 QRコード決済の採用 ②若手に割引価格の設定 卒業年は半額など ③会費の使途の広報 会報での報告復活、HP掲載（会員限定の閲覧方法の設定が必要）
3. 連絡手段（情報提供の強化）	①公式LINE、Twitterの開設、マニュアル作成（HP更新時に公式LINE、Twitterに同じ文面を配信） 〈以上3項目が提案を採択したもの〉
4. 学年コミュニティの形成	①ECOCA（学生会）との連携強化 ②在学生メーリス、学年LINEの活用
5. 同窓会ホームページ、会員名簿システムのリニューアル	

運営や予算面で検討すべき事項はいくつか残るものの、試行的にでも実行できるものは今年度中に実現していくべく検討を進めています。実施の際には会員皆様のご協力をお願いいたします。

最後にあらためまして、調査チームの有志6名の学生さん、ご指導いただきました大竹文雄先生に感謝とお礼を申し上げます。

事務局長 安竹素之（新28期、1980年卒）

「大阪大学経済学・経営学のトビラ」シリーズの定着に向けて

経済学部同窓会副会長・東京待兼会会長 西本 麗 (新28期)

一昨年から同窓会活性化プロジェクトの一環として始まった「大阪大学経済学・経営学のトビラ」はシーズン2を終了し、7月の総会講演会からはシーズン3が始まります。

担当の役員として企画時点から携わっていますが、我々の共通の学問分野である経済学、経営学を身近なものとして生涯の友にしようというコンセプトの学びのプログラムです。

経済学部の先生、現役学生そして卒業生が参加できる形としてリアルとオンラインのハイブリッド形式を中心に開催しています。講師から経済学・経営学に関する様々な話題を提供いただき、毎回中身の濃いお話、議論になっています。開始以来、2023年4月時点で延べ1,200名余りの方々に参加いただいておりますが、お忙しいところ講師として登壇いただいた皆さんのご協力に改めて感謝申し上げます。

今後は特に現役学生や同窓生の特に若い世代の新規参加者の増加に向けて、開催日程や講師陣の多様化も検討していきたいと考えています。皆さんの積極的なご参加をお願いするとともに、トビラシリーズに対するご意見、ご要望等をご遠慮なくお寄せいただくことをお待ちしております。



大阪大学 経済学・経営学のトビラ 開催実績・予定

回	開催日	会合名・演題・講師
第9回	2022/7/7	大阪大学経済学会特別講演会 (現地・当日オンライン中継のみ) 「阪大とSF～眉村さんの経済SFを中心に～」 SF作家 堀 晃氏
第10回	2022/10/5	教員講演会 「ラグジュアリー産業の歴史と現状について」 経済学部 ピエール＝イブ・ドンゼ教授
第11回	2022/11/17	OFC講演会 (現地・オンライン配信のみ) 「コロナ禍・ウクライナ情勢下での関西経済の状況等」 近畿財務局経済調査課長 塩土 泰啓氏
第12回	2023/2/17	同窓会セミナー 「健康価値について ～ケロログ社の経営に携わって～」 日本ケロログ合同会社 代表職務執行者社長 井上 ゆかり氏 (新33期)
第13回	2023/2/21	学生懸賞論文表彰式・報告会 (オンライン配信のみ)
第14回	2023/4/11	経済学部出身エグゼクティブ講演会 「レスキャッシュ時代の成長戦略」 グローリー株式会社 代表取締役社長 三和 元純氏 (新25期)
第15回	2023/5/31	東京待兼会春季懇話会(OFC共催) 「大阪大学・関西スタートアップエコシステム形成にむけて」 大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社 代表取締役 清水 速水氏

最後になりましたが、次回の「大阪大学経済学・経営学のトビラ」は、総会記念講演となります。皆さんもふるってご参加ください。

第16回 大阪大学 経済学・経営学のトビラ

第25回 経済学部同窓会総会 記念講演

日時	2023年7月1日(土) 14:30～	場所	リーガロイヤルホテル大阪
講師	PwCコンサルティング合同会社社長 鹿島 章氏 (新34期)		
演題	「総合プロフェッショナルサービスファームへの道ー社会に必要とされる専門家集団」		

同窓会費の納入をお願いします！～ 同窓会費納入の特典

同窓会は皆さんから納入いただいた会費で運営しています。会費の納入をよろしくをお願いします。会費を納入いただいた会員の皆さんには、①WEB名簿での他の会員情報の閲覧、②ガーデンシティクラブ大阪の利用、といった特典があります。

詳細は、大阪大学経済学部同窓会ホームページにて確認いただけます。

ぜひホームページをご覧ください。(https://machikaneyama.jp/)

(お詫び：現在ホームページのリニューアルを検討中のため、情報の更新が遅れています。申し訳ありません。)



同窓生のつながり創出に向けて～ WEB名簿での全会員情報の閲覧が可能

同窓会ホームページ上部の「名簿について」メニューからWEB名簿のログイン画面にアクセスできます。ID・パスワードは当会報に同封していますが、ご不明な場合は事務局または名簿登録届フォームで確認いただけます。

ログインするとご本人の情報が表示されます。画面上から登録情報の変更届を行うことも可能です。年会費未納の方はご自身の登録情報のみ確認・変更届が可能です。年会費を納入いただいた方は、全会員15,004名の情報も閲覧いただけます。卒業期や出身高校、勤務先などでも検索できます。

この機会にご自身の情報をご確認いただくとともに、年会費納入をお願いします。会費は、口座引き落とし、コンビニ、郵便局等の方法で納付いただけます。**昨年度からコンビニ用振込用紙のバーコードでPayPay、auPay、LINEpay、PayBでのスマホ決済が可能になり、多くの方にご利用いただいています。**



■WEB名簿使用のルール

- ・年会費を納入いただいた方は、納入した年度とその翌年について他の会員の名簿を検索・閲覧いただけます。会費未納者は、ご自身の情報しか表示されません。(年会費免除会員(入会から40年)は、全員が閲覧可能です)
- ・以下の項目は、WEB名簿の画面に表示しない指定をすることが可能です。
メールアドレス、生年月日、携帯電話番号、自宅住所・電話番号、連絡先の住所・電話番号、勤務先の名称・部署・役職・住所・電話番号
非表示の指定をした項目は、他会員の同項目を閲覧できません。例えば、生年月日を「非表示」と指定した場合、他会員の生年月日は閲覧できなくなります。

同窓会費納入者への特典！ ガーデンシティクラブ大阪をぜひご利用ください



シャンデリアが輝くラグジュアリーなクラブラウンジ

大阪・梅田の「ハービスOSAKA」内の会員制クラブ「ガーデンシティクラブ大阪」に法人会員として加入しています。

同窓会会員は個室5室(収容10名～120名)を利用可(有償)ラウンジ(平日11:30～23:00)は同窓会会員証提示により特別割引などございます。

ランチ11:30～14:00 カフェ14:00～17:00 ディナー17:00～23:00 同窓会会員の憩いの場としてご利用ください。

【会員特典】

- ・ラウンジにてコーヒー無料サービス(14:00～17:00)
 - ・会員限定価格パーティプラン(料理+飲み放題)6,000円～/人
- ※コロナ禍の状況により収容人数が変動する場合がございます。

「ガーデンシティクラブ大阪」(略称:「GCCO」)

大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA 6階 JR大阪駅、阪神梅田駅、地下鉄西梅田駅から徒歩約5分

TEL: 06-6343-7770 FAX: 06-6343-7773

HPアドレス: <http://www.gcco.jp>

学生部会 (ECOCA) の活動

学生部会 (ECOCA) 会長 **坂田 雛子**

同窓会では、学部生が中心となって運営する学生部会と連携し、活性化を図っています。

この度、第15期のECOCA会長に就任しました、3回生の坂田雛子です。

同窓会の皆様には、日頃からECOCAの活動にご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

私はECOCAの「経済学部の縦と横のつながりを深める」ためにイベントを企画、運営するというコンセプトに共感し、運営メンバーへの加入を決めました。私はECOCAに加入してから、主にOBOG交流会に携わりました。参加者集めや、参加者と密に連絡を取り合うことに苦戦しましたが、運営メンバーと協力して開催することができました。

私はこれから1年間ECOCAの会長として、学部生の皆さんに有意義なイベントを提供するECOCAを目指して活動してまいります。団体理念にある通り、学部生に「自分を磨く場」を提供するべく、学部生のニーズを把握し、学部生ならではの視点からイベントの企画、運営に励んでまいります。

昨年度はこれまでに比べ、同窓会の皆様と関わる機会が多くありました。その中でも昨年10月の懇親会食会はECOCAと同窓会の関係を強化したいと考えるきっかけになりました。昨年度に引き続き、今年度も様々な機会を通じて、同窓会の皆様とのつながりを深めたいと考えております。

経済学部生及び同窓会の皆様のお役に立てるよう、1年間精一杯活動して参りますので、今後ともECOCAをよろしく願いいたします。

経済学部同窓会副会長 田上晴久 (新33期)

1985年に学部卒業後、新日鉄 (現日本製鐵) に入社しましたが、その後スポーツウェア生産の家業を継いでおります。卒業後同窓会費こそ払っておりましたが、全く同窓会活動には関心も無く30数年経過しておりましたが、縁あって2019年に同窓会副会長を拝命致しました。同窓会活動を始めて先ず感じた事は、実際に同窓会活動を運営しているのは我々以前の卒業の方が主体で、これから卒業されて同窓会員になれる現役との交流が殆ど無くサスティナビリティ (持続可能性) が無いと感じました。そこで15年前に当時の小林敏男教授が設立されたECOCA (同窓会学生部会) とのコンタクトを昨年より取る事としました。ECOCAの皆さんに逢って感じた事は、ECOCAの皆さんが「意識が高く、学生部会の縦と横のつながりを深める」事を主目的に積極的に活動されている事でした。我々同窓会の主たる目的も「同窓生の交流を促進する事」と思います。

その一つのツールとしては、同窓会費を払っておられる方は、大阪大学経済学部同窓会HPの中でゼミ・年次・出身高校・勤務先・所属クラブ単位で検索する事が可能です。

同期会や同窓会をするには便利なツールだと思います。(但し、情報の更新は事務局へ本人からの申し出が必要ですが) 同期会もしたいのだが「言い出しっぺ」が居なくて、、というケースが多いと思いますので、先ずはこの春の卒業生を対象に東京と大阪において開催する予定です。今後、卒業10年など節目を迎える同期会の開催支援も検討したいと思います。

これからも、現役学生との交流を増やしどのようにすれば「お役に立てる」のかを意識しつつ、活動を続けていきたいと思っております。



【OBOG交流会】

学部生とOBOGの方々との交流会。縦と横のつながりを深めること、実際に社会で活躍する先輩方の話を聞くことで学部生の進路形成の一助となることを目的に開催しました。昨年度は3年ぶりに食事ありでの開催となり、食事やその後のフリートークで会場は大いに盛り上がりました。



【企業探求セミナー】

企業による説明会と懇親会を通して、就活生のみならず、幅広く大阪大学の学生に企業理解と就職活動について理解を深めてもらうことを目的に開催しました。昨年度は1日6社、2日間で計12社にご参加いただきました。

【卒業祝賀会】

ザ・リッツ・カールトン大阪にて4年ぶりに食事ありで開催しました。卒業生31名、教員13名、同窓会から来賓5名にご参加いただきました。卒業生の門出にふさわしい、華やかな会でした。



【新入生対面交流会】

「縦と横のつながりを深める」べく、新入生の歓迎会を行うと同時に、ECOCAの存在を新入生に知ってもらうことを目的に開催しました。今年度は新入生74名と教員14名、同窓会から来賓2名にご参加いただき、新入生と先生方での「自己紹介ビンゴ」は大盛り上がりでした。

東京待兼会だより

会長 西本 麗 (新28期)

東京待兼会では、東日本の同窓生の交流促進のため現状のコロナ禍の下で実施できる、さまざまな活動を行っています。開催した主な行事を紹介します。

1. 春季・秋季懇話会

例年ですと法学部（青雲会）と共催で講演会及び懇親会を開催しています。春季はOFC（経済学部オープンファカルティセンター）とも共催ですが、昨年はいずれもコロナ禍のため従来どおりの懇親会は開催することができず、ハイブリッドあるいはオンライン（ZOOM）のみ形式での講演会を実施しました。

【春季講演会】

5月27日18時から学士会館で開催し、オンラインでも中継しました。大阪大学免疫学フロンティア研究センター招聘教授 宮坂昌之氏が登壇され、「新型コロナウイルスはワクチンだけで防げるのか?」というテーマで約1時間お話しいただきました。その後希望者で小規模な食事を催しました。



【オンライン秋季講演会】

12月17日18時からオンラインで青雲会主催によりUI銀行会長（法学部21期（1981年卒））の味岡桂三様が「日本の100名城ひと巡り」というテーマで講演されました。

本年は、本稿作成時点で、5月31日18時から学士会館で春季懇話会を予定しています。講師は大阪大学ベ

ンチャーキャピタル代表取締役清水水様をお願いしています。終了後久しぶりに立食形式懇親会も予定しています。なお、本講演会は大阪大学経済学・経営学のトビラとして全国にもオンライン中継されますが、後日オンデマンドでもご覧いただけるよう録画の配信を予定しています。

2. 例会

「知の継承」をめざし例会（勉強会）を開催しています。こちらもハイブリッド方式で実施しています。毎回10～20名程度の参加。講師は基本的に同窓生の持ち回りです。

第29回 10月21日 久保恵一氏（新24期）「サステナビリティ情報の開示」

第30回 11月21日 河野光輝氏（新38期）「コロナ下、直近の沖縄の政治・経済動向」と「私の近況のご報告」

3. ゴルフ部会

2023年1月14日東京待兼会ゴルフ会を実施しました。

他学部同窓会との共同開催を検討しています。



4. ビアパーティー他

昨年はコロナ禍のため、ビアパーティーを実施できませんでした。本年は同窓会本部とも連携し、本年卒業の同窓生を対象にした行事を計画しています。

名古屋待兼会だより

会長 藤原 政雄 (新19期)

名古屋待兼会は、経済学部、法学部の卒業生を中心に昭和30年代に発足し、現在は全ての学部の卒業生により構成されています。愛知・岐阜・三重にお住まいの方が主な会員です。会の活動は「小の月の第三土曜日の18時から」を基本に例会と11月は総会開催です。例会では、講師担当の会員が30分ほど講話、その後会食懇談を楽しみます。

しかしながら、この伝統ある会もコロナ感染拡大には抗い切れず、2020年の4月例会以降開催できない事態に。例会の再開は昨年6月、いつもの開催場所であったホテルはコロナ感染拡大の影響で廃業、新たな会場での開催となりました。11月の総会には来賓として経済学研究科副研究科長の山本千映教授にお話をいただきました。



会への出席者の多くは世代を超えた会員同士の語りを楽しみにしています。会に参加いただければこの楽しみを共有いただけることでしょう。（関心のある方、同窓会事務局までご連絡ください。）

昨年再開以降の例会、総会のテーマは以下のとおりです。

■6月例会「最近考えること」

須賀祥夫氏（新21期、1964経）

■9月例会「私が弁護士になるまでのこと、なっぺらのこと」

柘植智甫氏（2009法）

■11月総会

経済学研究科副研究科長山本先生に「大阪大学経済学部の現状と私の研究」のテーマでお話をいただきました。

■2月例会「愛知県政150年の話題から－出身政治家群像」

高木浩司氏（1980人科）

代表幹事紹介

同窓会報編集長も 務めました！

河添正己 (新29期・1981年卒)



十数年前から代表幹事役を仰せつかるとともに、広報部会のみなさんと一緒に「経済学部同窓会報待兼山」の取材・編集を手がけてきました。

紙面作りは労苦多々ながら、やり応えのあるクリエイティブワークです。

なかでも卒業生インタビューは、各分野で活躍中の方々の苦労話やとっておきの話題を紹介できる同窓会報ならではのコンテンツなのですが、ここ数年はコロナ禍での制約が辛いところでした。

勤務先だったMBS（毎日放送）を今年完全退職。営業担当ではスポンサー調整に苦労した思い出。

報道記者時代、経済事件の闇を追い、重大事故の背景を探り、関係者を訪ねた日々。

消費税導入時の報道では、「悪税」と決めつけ

る上司の方々とガチンコでバトルしました。

完全養殖達成間近の近大マグロの生け簀に潜らせていただいたのが、つい先日のです。

最後に担当した番組アドバイザーの仕事では、適切な取材手法や表現を指南しつつ、放送での日本語表記ルールのアップデートに取り組みました。

例えば「敷居が高い」は伝統的には「不義理して上がりにくい」でしたが、現代語でそんな使い方は、ほぼ皆無ですよ。

大学時代は探検部海洋研究会を時代に合わせてダイビング部にアップデート。学内有数規模の運動クラブに発展しています。

当時は沖繩がホームグラウンドでしたが、近年すっかり陸上生物化、ロードバイクで山野を駆けるのが目下の健康法です。

桜など季節の花々・新緑・紅葉もペダルを漕いで、夏でも冷涼な乗鞍岳には標高2,700mまでヒルクライム。古人が辿った街道も心拍上げて峠越えすれば歴史ロマンひとしお。四季ごとに見逃せないスポットで行けてない所は？健康寿命から逆算しながら毎年潰していこうと思っています。

長女も阪大経済（新62期）周りにも「親子2代」が多いのに驚きます。同窓会の可能性を次世代に探ってもらえればと願ってやみません。

各期の代表幹事の皆さん

(敬称略)

卒期	卒年	氏名	卒期	卒年	氏名	卒期	卒年	氏名
旧1期		角井 壽保	新27期	1979	岡本 光司	新49期	2001	谷岡 佳昭
新4期	1956	小川 泰造	新28期	1980	安竹 素之	新50期	2002	高岸 寛幸
新5期	1957	野原 康彦	新29期	1981	河添 正己	新51期	2003	呉服 淳二郎
新6期	1958	森 康次	新30期	1982	三木 孝	新53期	2005	堺 信夫
新8期	1960	木下 萬蔵	新31期	1983	小林 敏男	新54期	2006	赤川 正周
新9期	1961	小島 勝利	新32期	1984	尾形 元	新55期	2007	角垣 旭彦
新10期	1962	小森 努	新33期	1985	津田 龍司	新56期	2008	酒井 誠行
新11期	1963	中野 一輝	新34期	1986	奥村 麻由美	新57期	2009	川原 徹也
新12期	1964	木越 正宣	新35期	1987	友田 泰弘	新58期	2010	前野 良太
新13期	1965	蒲田 建三	新36期	1988	藤原 正啓	新59期	2011	中川 典哉
新14期	1966	高木 正彬	新37期	1989	吉田 正明	新60期	2012	大川 淳士
新16期	1968	谷内 増夫	新38期	1990	山口 一	新61期	2013	中道 周平
新17期	1969	井垣 成量	新39期	1991	玄田 真一	新62期	2014	佐野 徹
新18期	1970	田中 克明	新40期	1992	前田 紀幸	新63期	2015	廣田 和大
新19期	1971	南向 明博	新41期	1993	島田 真吾	新64期	2016	田中 千紗乃
新20期	1972	南 俊光	新42期	1994	外山 俊明	新65期	2017	岸本 智弘
新21期	1973	元木 幹治	新43期	1995	椎葉 淳	新66期	2018	吉田 侑真
新22期	1974	梅名 義昭	新44期	1996	高石 秀之	新67期	2019	村山 愛子
新23期	1975	藤田 佳久	新45期	1997	濱田 出	新68期	2020	加藤 優介
新24期	1976	富田 安信	新46期	1998	大谷 尚資	新69期	2021	山澤 正和
新25期	1977	坂本 孝治	新47期	1999	大橋 弘幸	新70期	2022	橋本 克
新26期	1978	藪本 冬樹	新48期	2000	駒喜多 学	新71期	2023	田野 佑也

代表幹事紹介

すっきり 「中小企業のオヤジ」 です

高石秀之 (新44期・1996年卒)



新44期（1996年卒）の高石と申します。

卒業後は銀行勤務を経て、「三代目」として家業を引継ぎ、ゴムOリング・パッキングメーカーの社長をしております。製品は地味ながら「ウォシュレット」「温水床暖房」など意外と皆さまの身近なところで使われています。近年はご多聞に漏れず原材料や電力費の高騰と人財の慢性的な不足に悩まされながら、「中小企業のオヤジ」として「いい会社」づくりに頑張っています。

社会人になってからはあっちにぶつかりこっちにつまずきで、あまり自慢できるようなこともないのですが、在学中に勉強して今一番役に立って

いるのは、実は「統計学」です。その当時は「絶対使わないだろう」と思っていたのですが、ひょんなことから大学のクラブの先輩と知り合い、水素ステーション用のゴムOリングを開発。統計の知識を開発に応用し、世界的にも珍しいものを作っていました。

この原稿を書いている現在は、その水素用Oリングを売り込みに行き、2週間の欧州出張から帰ったところです。ドイツ・ハノーバーの展示会「ハノーバーメッセ2023」に出展してきました。新型コロナウイルスで2年間中断があったものの、2014年以来数えて8回目の参加になります。会場では5日間の会期中ブースを構えて来客や商談に対応し、英語でプレゼンをする機会も2回ありました。また、会期中日の夕方には「ジャパンナイト」を開催して酒や寿司を振る舞い、参加者・出展社の皆さんとコミュニケーションを図りました。

経済学部同窓会には10年ほど前からコロナ前まで定期的に参加させていただいていたのですが、ここ3年ほど足が遠のいていました。かつては広報部会補佐としてホームページ (<https://machikaneyama.jp/>) リニューアルの担当でした。

またお役に立てればと思っています。

代表幹事紹介

豊中ライフ再び

高岸寛幸 (新50期・2002年卒)



50期、代表幹事の高岸です。同期の皆様、大変ご無沙汰しております。

2002年にみずほ銀行に入行し、2005年に転勤のため生まれ育った大阪を離れ、コロナ禍2020年の転勤で、再び大阪に戻って参りました。15年間、大阪から遠く離れた関東や東北で勤務していたため、幹事会を欠席せざるを得ず、同窓会事務局の方には大変ご迷惑をお掛けしました。ただ、東京開催の「大阪大学の集い」に参加する等、大阪や阪大への愛着は失うことはありませんでした。

2021年より同窓会役員の方のお声かけで背中

を押していただき、代表幹事会に参加させていただいております。50期前後の卒業生の皆様は、まさしくロスジェネ世代で、管理職として多忙を極めつつも、公私共に、充実した日々を過ごされているのではないのでしょうか。私も、例に漏れない状況なのですが、縁あって、現在、豊中キャンパスの徒歩圏内の場所に暮らしております。

昨年、家族で2022年のいちょう祭に参加しました。3年振りの対面開催とのことでしたが、コロナの影響で入場制限等ありつつも、私の学生時代と変わらない熱量で大変楽しむことができました。鉄道研究会、Robohan(阪大口ロボット製作団体)の皆様、小1の息子の無茶振りに優しく応じていただき、ありがとうございました。綿菓子も美味しく、ストリートダンスも素晴らしかったです。2023年のいちょう祭も是非参加します(執筆時は開催1週間前です)。

最後になりましたが、引き続き、同窓会と阪大経済学部のため、微力ながら尽力していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

代表幹事紹介

伝統芸能(古流武術)を 継承して



駒喜多 学 (新48期・2000年卒)

「突けば槍 薙げば長刀 引けば鎌 とにもかくにも 外れざりけり」

これは、私が継承(22代目)している宝蔵院流槍術に伝わる歌である。

当流は、約470年前、宝蔵院胤榮が創始し、2代・胤舜も含め、漫画「バガボンド」や大河ドラマ、歴史小説にもたびたび登場する流派である。

宝蔵院流の槍は、十文字形の刃をつけた槍であり、刃が8枚ついている。そのため、横に薙いでも、手前に引いても、斬れる武器であり、江戸時代、最強の武器(流派)として全国を風靡し、日本を代表する槍術流派として発展した。

私の家は、宝蔵院流の家元家と親戚関係にあった。そのため、流派のことは繰り返し聞いて育った。現在、継承している高田派を始めたのは社会人になってすぐ。以来、20年以上にわたり日々修行を重ねてきた。古武道で大切なのは、自分と向き合い、自分に勝つこと。つまり、自分の心の弱さ(不安、おそれ、驚く、迷い)に打ち勝つことが一番大切である。日々、邪心・雑念を排し、技の鍛錬を行う。自分の体や心に語りかけ、その声を聴く。「無理な力が入った」「重心がずれた」「心が乱れた」など、様々な声に耳を傾け、より高みを目指し、一步、また一步と登っていく。流祖や先師たちが見た世界を見るために。

最後に、仕事は、近鉄という鉄道会社で人事企画(労務)を担当している。社員のモチベーションをどうやって向上させるか、イキイキとした組織にするにはどうしたらよいか。それらの取り組みは、流派の方でも役に立っている。地元ファンを創っていく鉄道会社。時代を超えて広くファンを創り、伝統を輝かしていきたい流派。共に、新しい価値をどうやって生み出していけるか、日々、未来に向けた挑戦は続く。

代表幹事紹介

卒業10年、家族同伴の 同期会を開催したい



中道周平 (新61期・2013年卒)

同窓会員の皆様、こんにちは。第61期の代表幹事を務めております、中道と申します。

大阪大学経済学部を卒業してから、ちょうど10年が経過しました。大阪ガスに入社し、卒業以来今までずっと大阪に住んでおり、卒業して間もない頃は、同級生や学生の方々と多く交流していましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、今やそういったイベントがめっきり減ってしまったなど、少し寂しさを感じております。

つい先日、たまたまとある同期の卒業生と食事をする機会があったのですが、やはり同じような

心境をお持ちで、特に地方へ移住した方にとっては、同じ大学の卒業生と交流する機会がなかなかなく、たまには積もる話もしたいねーという会話をしておりました。

代表幹事を務めているとはいえ、卒業以来幹事と言えるような仕事は特にしてきませんでした。そういったご意見を踏まえ、コロナ禍が終焉を迎えつつある今、そういった会を開いてもいいなど感じております。

関西でこじんまりにでも同窓会を開催できればと考えており、まずは協力してくださる関西在住の有志を募りたいと思います。開催の見通しが立てば、同期の皆さんにはSNSなどを通じてご案内しますので、是非ご参加ください。同窓会事務局の皆様におかれましても、開催に際してはご協力いただければ幸いです。私事ですが、妻も同期の経済学部卒業生ですので、我が子(5歳)も連れて参加できるような会にしたいと思っています。参加が実現すれば、是非皆さんのご家族も同伴いただき、賑やかな会にできればいいなと考えています。

新幹事紹介



第71期代表幹事
田野 佑也

この度同窓会第71期代表幹事を務めさせていただくことになりました、田野佑也と申します。

私の大学4年間は、人生の分岐点とも言えるほど大変有意義なものでした。自分自身で学びたいこと、やりたいことを決め、興味のある分野については深く追求することができ、学ぶことや新しいことに挑戦する楽しさを知ることができました。その中で最も注力したことは、「様々な経験」と「人との出会い」でした。アルバイト、サークル、インターンシップなどの経験を通じて、多様なバックグラウンド・価値観を持つ人と出会い、多くの学び・成長をさせていただきました。そして、「人生を通じて成し遂げたいこと」を見つげられたことは、かけがえない財産です。

また、同窓会の先輩方には大変お世話になりました。ECOCAでの日々の活動はもちろんのこと、OBOG交流会では多くのアドバイスをいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。次は私自身がその役割を担う側となります。代表幹事という重責を担わせていただくのは、身の引き締まる思いです。経済学部という繋がりをより一層強固なものとするために、微力ながら同窓会の更なる発展のため自らの務めを果たしていく所存です。そのためにも、家族への感謝、大学への感謝、仲間や先輩方への感謝を忘れず、社会人として精進していきたいと思ひます。

皆様には引き続きお世話になることと思ひますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

2022年度経済学部卒業者就職・進学先 (大学院卒を含む)

(順不同)

就職先	人数	就職先	人数	就職先	人数	就職先	人数
ABeam Consulting China	1	(株) エコミック	1	(株) リそな銀行	1	三菱UFJインフォメーションテクノロジー	1
(株) ALBERT	1	(株) エヌ・ティ・ティ・データ	1	レンゴ	2	三菱UFJニコス	1
Bytedance	1	オリックス生命保険	1	旭化成	1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	1
(株) D Y M	1	(株) カクダイ	1	伊藤忠丸紅鉄鋼	1	(株) 三菱UFJ銀行	6
Ernst & Young (China) Advisory Limited	1	(株) クニエ	2	伊藤忠商事	2	三菱UFJ国際投信	1
EYストラテジー・アンド・コンサルティング	3	(株) クラレ	1	一般財団法人日本品質保証機構	1	三菱UFJ信託銀行	4
FPサービス	1	(株) ケーイーシー	1	一般社団法人大阪倶楽部	1	三菱瓦斯化学	1
f r e e e	1	コベルコシステム	1	海通証券	1	(株) 三菱総合研究所	1
JFEエンジニアリング	1	サントリーホールディングス	2	楽天グループ	3	(株) 時事通信社	1
JFEスチール	1	株式会社エイシー・ルートメント	1	関西電力	1	住友化学	3
(株) JVCケンウッド	1	(株) シティコム	1	(株) 丸井グループ	1	住友生命保険相互会社	1
(株) KADOKAWA	1	セイコーエプソン	1	岐阜県	1	清水建設	1
KDDI	1	ダイキン工業	2	岐阜県信用保証協会	1	西日本建設業保証	1
KPMGコンサルティング	1	(株) データX	1	吉本興業	1	西日本電信電話	2
KPMG税理士法人	1	株式会社デジタルハーツホールディングス	1	宮崎産業経営大学	1	西寧大学	1
New Oriental Education & Technology Group	1	テールモ	1	京セラ	2	青島星之韵睫毛有限公司	1
Not determined yet	1	テロイト・マトソンコンサルティング合同会社	1	京都府信用農業協同組合連合会	1	積水ハウス	2
(株) NTTデータNJK	1	テロイト・マツダ(ナショナル7)ビルダー合同会社	1	九州電力	1	(株) 千葉ロッテマリーンズ	1
(株) NTTドコモ	1	株式会社レイロジグループ本社	1	経済産業省	1	(株) 船井総合研究所	1
Postal Savings Bank of China	1	(株) ニトリ	2	古河電気工業	1	双日	1
PwCコンサルティング合同会社	1	(株) ネットプロテクションズ	1	公益財団法人アジア成長研究所	1	大阪学院大学	1
Shaoxing University	1	パーソルファクトリーパートナーズ	1	工機ホールディングス	1	大阪ガス	2
SMB C日興証券	1	パナソニックインダストリー	1	(株) 広島銀行	1	大阪市役所	1
T I S	2	ピーウィズコンサルティング	1	国土交通省	1	大同生命保険	1
western securities	1	(株) ビーワークス	1	国立大学法人一橋大学	1	大和証券	3
(株) Works Human Intelligence	1	(株) ファイントゥデイ資生堂	1	国立大学法人大阪大学	2	(株) 大気社	1
Y I N G K E P E	1	(株) フジテレビジョン	1	阪急阪神ホールディングス	1	第一生命保険	1
ZS Associates International, Inc	1	フューチャー	1	阪和工木材	1	(株) 竹中工務店	1
アイ・ケイ・ケイホールディングス	1	フューチャー・インスペース	1	三井化学東セロ	1	中国華泰証券	1
(株) アイネックス	1	フリ	1	三井住友カード	1	(株) 電通ライブ	1
アクセンチュア	1	(株) ブルボン	1	三井住友海上火災保険	2	東京海上日動火災保険	3
アビームコンサルティング	2	(株) ブレインパッド	1	(株) 三井住友銀行	5	東京建物	1
(株) アルモニコス	1	(株) プロシップ	1	三井住友銀行中国	1	東邦ガス	2
(株) イシダ	1	株式会社ベカレント・コンサルティング	2	三井住友信託銀行	4	東洋証券	1
(株) インオーダー InOrder Co., Ltd	1	株式会社みずほフィナンシャルグループ	3	三井不動産レジデンシャル	1	(株) 読売新聞グループ本社	1
インフラテック	1	みずほリサーチ&テクノロジーズ	1	三菱HCキャピタル	1	日東工器	1
						日本アイ・ビー・エム	1
						合計	231
						進学先	人数
						大阪大学大学院 経済学研究科	9
						大阪大学大学院 人文科学研究科	2
						大阪大学大学院 工学研究科	1
						広島大学大学院 医系科学研究科	1
						東京医科歯科大学大学院 医学総合研究科	1
						合計	14

2023年3月末現在、大学で集計されたデータをもとに作成したものです(卒業生数:学部229名、大学院89名)

令和3年度決算の会計報告

同窓会の重要な収入源としては、会員の皆様からの入会金、年会費収入および会費納入免除となられた方々からの協賛金であります。令和3年度も予算比、前期比ともに減収傾向に歯止めがかからず、厳しい財政状況が続いております。

会員の皆様におかれましては、会費納入につきまして一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

支出面では、コロナ禍の状況のもと総会や各種会合がオンラインでの開催となったことからそれぞれ減額となり総じて支出減となりました。また、同窓会活性化のための新価値創造調査につきましては、大竹先生のご賛同を得て大竹ゼミ生有志による調査として実施することとなり、今期に関してはアンケート調査協力費の支出のみ

となり予算比では大幅な減額となりました。

令和3年度につきましては、以上のようなコロナ禍の要因を主として単年度収支が黒字となりました。しかしながら、令和4年度からは本会報でご紹介した通りコロナ禍を克服し、同窓会活性化プロジェクトを実行に移していくため、各種会合のハイブリッド開催や情報発信機能の強化など従来以上の経費増が見込まれます。

今後の同窓会活動をより充実したものとするためには会員の皆様のネットワークを通じて参加者および会費納入者の拡充が不可欠です。会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

事務局長 安竹 素之 (新28期)

一般会計収支計算書
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位:円)			
科目	予算	実績	差異
I 収入の部			
1. 会費・入会金収入	4,655,000	4,337,000	318,000
(1) 入会金	200,000	335,000	△ 135,000
(2) 年会費	2,750,000	2,540,000	210,000
(3) 協賛金	1,600,000	1,462,000	138,000
(4) 特別会費	105,000	0	105,000
2. 利息収入	1,200	265	935
3. 雑収入	110,000	116,000	△ 6,000
4. 特別会計戻入	200,000	200,000	0
(1) 総会	200,000	200,000	0
(2) 運営基金	0	0	0
当期収入合計	4,966,200	4,653,265	312,935
II 支出の部			
1. 事業費	2,931,000	1,488,376	1,442,624
(1) 会報発行費	530,000	424,960	105,040
(2) 名簿作成費	1,000	580	420
(3) 総会費	200,000	39,401	160,599
(4) 助成費	210,000	182,000	28,000
(5) HP運営費	220,000	188,284	31,716
(6) イベント費	300,000	145,399	154,601
(7) 活動拠点運営費	470,000	407,752	62,248
(8) 新価値創造調査費	1,000,000	100,000	900,000
2. 管理費	2,035,200	1,930,553	104,647
(1) 業務委託費	680,000	720,000	△ 40,000
(2) 会員管理・会費事務費	750,000	825,752	△ 75,752
(3) 事務局管理運営費	300,000	300,000	0
(4) 会議費	230,000	0	230,000
(5) 消耗品費	10,000	3,796	6,204
(6) 通信交通費	30,000	37,610	△ 7,610
(7) 慶弔費	20,000	31,350	△ 11,350
(8) 雑費	15,200	12,045	3,155
3. 特別会計繰入	0	0	0
(1) 総会	0	0	0
(2) 運営基金	0	0	0
4. 予備費	0	0	0
当期支出合計	4,966,200	3,418,929	1,547,271
当期収支差額	0	1,234,336	△ 1,234,336
前期繰越収支差額	745,724	745,724	0
次期繰越収支差額	745,724	1,980,060	△ 1,234,336

特別会計収支計算書
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位:円)			
科目	予算	実績	差異
(1) 総会特別会計			
I 収入の部			
1. 一般会計より繰入	0	0	0
(1) 総会	0	0	0
当期収入合計	0	0	0
II 支出の部			
1. 一般会計へ戻入	200,000	200,000	0
(1) 総会	200,000	200,000	0
当期支出合計	200,000	200,000	0
当期収支差額	△ 200,000	△ 200,000	0
前期繰越収支差額	1,000,000	1,000,000	0
次期繰越収支差額	800,000	800,000	0

(2) 運営基金特別会計 (単位:円)

科目	予算	実績	差異
I 収入の部			
1. 一般会計より繰入	0	0	0
当期収入合計	0	0	0
II 支出の部			
1. 一般会計へ戻入	0	0	0
当期支出合計	0	0	0
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	13,000,000	13,000,000	0
次期繰越収支差額	13,000,000	13,000,000	0

(3) 周年記念事業特別会計 (単位:円)

科目	予算	実績	差異
I 収入の部			
1. 譲受金収入	0	0	0
当期収入合計	0	0	0
II 支出の部			
1. 学生会活動助成費	250,000	145,570	104,430
2. 予備費	100,000	0	100,000
当期支出合計	350,000	145,570	204,430
当期収支差額	△ 350,000	△ 145,570	△ 204,430
前期繰越収支差額	3,860,752	3,860,752	0
次期繰越収支差額	3,510,752	3,715,182	△ 204,430

事務局からのお知らせ

■第25回総会を7月1日(土)に予定しています。ご参加ください。

今年は2年ごとの総会の開催年であり、7月1日(土)、リーガロイヤルホテル大阪において開催するべく準備しています。記念講演は、PwCコンサルティング合同会社の鹿島章会長にお引き受けいただきました。今回は、コロナ禍まえにもどり総会、記念講演、懇親パーティーの3部構成で開催を予定しております。同窓会会員の皆様には、久しぶりの友人、先輩後輩と旧交をあたためる場としてご参加いただきますようお願い申し上げます。

■今年の経済学部ホームカミング日は秋の開催となります。

コロナ禍により中止されていた大阪大学ホームカミング日は秋のまちかね祭にあわせて開催される予定です。詳細が決まりましたら、大学ホームカミング日にあわせて豊中キャンパスで開催してございました経済学部ホームカミング日も再開したいと思います。今年は笑顔で集まれることを願っています。

■同窓会へのお問い合わせ先(同窓会事務局)

machikane@econ.osaka-u.ac.jp